

## 経験から生まれた将来の夢

野沢中学校 三年 今村 奏音

私の将来の夢は小児科の医療従事者になることです。

そのきっかけとなったのは、私が小学六年生のときに、上腸間膜動脈症候群になった事です。この病気は成長期に急に身長が伸びたりした時、成長に追いつかない血管が小腸を圧迫してしまい発症します。人によって症状は違いますが、私は吐き気、食欲不振、体重減少などが起こりました。はじめは原因が分からず、周囲からは、何か悩みがあるのか？と心の心配をされたり、大きな病気なのか？と体の心配をされたりしました。自分では大きな悩みもなくいつも通りに過ごしていて、急にこの様になったので、何が原因なのか分かりませんでした。病院に行って色々検査をしましたが、異常はなく、最終的にエコーを撮ったことで原因が分かりました。その時、お医者さんは丁寧に説明をしてくれました。

「成長期に起こり得る事で今、不調があるけれど、必ず元の通りになるから安心してね。」

と言ってもらい、すごく安心したことを覚えています。私の場合はこの症状が三ヶ月くらい続き、食欲が出ず、食べてもすぐお腹がいっぱいになる感覚で、体力や体重も減り、辛かったです。

成長期に起こることが多い病気ということですが、あまり知られていないように感じました。原因に気づかず、心身症と診断される中高生もいるそうです。心が原因ではなく、成長期に関係して起こる病気もあることを周囲にも知らせたいです。

この病気が治るまでに、たくさんの人達が協力してくれました。学校の先生や友達、そして家族。たくさんの人に迷惑や心配をかけたけれど、元気になることができました。感謝でいっぱいです。

命に関わる病気ではありませんでした。自分の身に起きた症状を見つけてくれ、分かりやすく説明してくれたお医者さんの姿や、何度も病院に通う中で、優しく接してくれた看護師さん達が働く姿を見て、私もこんな風に働きたいと思いました。元々子どもが大好きで、子ども達を幸せにする仕事をしたかったので、医療で一人でも多くの子どもを笑顔にできるようにしたいです。

子どもはうまく自分の症状を伝えられなくて、一人で悩みこんでしまふ事があると思うので、それに気づいてあげられるような知識を身につけたいです。その子どもに付きそうお父さんやお母さんはすごく不安です。そんな家族にも寄り添えるような医療従事者になりたいです。そのために、今は日々の勉強を積み重ね、夢が実現できるように頑張ります。